

加古川南高美術部員デザイン

住警器点検啓発 のぼりと垂れ幕

加古川駅前

住宅用火災警報器（住警）め、加古川南高校（加古川市）の点検を呼びかけた。市加古川町友沢）美術部の



加古川南高校美術部がデザインした住宅用火災警報器の啓発のぼり。JR加古川駅前

生徒がデザインした啓発のぼりと垂れ幕が、JR加古川駅前ロータリーなどに掲げられている。親しみやすい女子高生と消防士を描いた。

加古川市消防本部は2020年度から高校生と連携し、火災予防活動を展開。22年度は同高に依頼した。のぼりは縦145センチ、横50センチ。同駅前の照明灯10カ所や、同本部の10消防署・分署に設置。住警器について、女子高生が「飾りになっていませんか？」と問いかけている。消防士を描いた垂れ幕は縦230センチ、横80センチ。同駅南のベルデモ

ル商店街に51枚を取り付けた。同本部管内（同市、稲美、播磨町）の住警器の設置率は、今年6月時点で81・7

%。全国の84・0%を下回る。住警器の寿命は約10年とされ、11年6月の設置義務化から10年を超えるため、同本部は作動の確認や交換をよう求めている。

（斉藤正志）